

「奈良県森林クラウドシステム構築業務及び運用保守業務」入札公告にかかる質問及び回答

種別	項目	質問内容	回答
入札説明書	2. 競争入札に付する調達の内容(6)	運用保守の金額について、人件費の上昇はプロポーザルで採択された金額に関わらず、増額する可能性はありますか。 また、昨今調達先のデータセンタの機器が円安の影響を受けて、大幅に増額することがありました。 上記人件費や経費に関して大幅な上昇があった場合はご協議の上、増額することが可能かご教示頂きますと幸いです。	仕様書10.5 委託費支払条件(イ)及び(ウ)に示させていただいているとおりとなります。
	10. 提案書について	「正本1部、副本、見積書、附属資料各8部ずつを提出」とありますが、見積書や附属資料は正本に含まなくても宜しいのでしょうか。 正本の内訳、副本の内訳をご教授いただけますでしょうか。	見積書や附属資料は正本に含んでいただきます。 ご提出いただきますのは「正本1部、副本7部、見積書8部、附属資料8部」となります。
作業実施証明書 (入札説明書 様式2)	3 作業体制	例で「人数等」と書かれていますが、作業体制の人数の他に何を記載すればよろしいでしょうか。	人数の他、作業体制が把握できるよう、例えば再委託等実施される場合は各々の役割等をご記載ください。
仕様書	1.7 業務の基本方針(ア)	本件の仕様内容としては示されている通り①と②の両方で構築可能かと思いますが、どちらかを採用することで評価に影響しますか。 仕様書ですと②のインターネット版の記述が比較的多いかと思い、ご質問いたしました。	①、②の構築方法による評価の優劣は致しません。
	3.4.1 データ標準化	ER図、データ定義書は、森林クラウドの全てのテーブルや図形データで必要でしょうか。	森林クラウドシステム全体のデータ構成や仕様書4.3 機能要件に掲げる各機能のデータ構成について把握する必要があるため、全てのテーブルや図形データが必要としております。
	3.4.3 データセットアップ	紙媒体やPDFデータの台帳化及びGISデータ化処理を行うこととあります。 台帳化する項目数とその内容、GISデータ化処理を行う場合のレイヤ数とその内容を、それぞれサンプルをご開示いただけますでしょうか。	台帳化及びGIS化処理の対象は、仕様書の別紙1 移行データ一覧に掲げる、現システムからの移行データになります。なお項目やデータ容量は別紙1のとおりです。